

# 研修体系表(試案)活用に向けたご意見・質問と回答



Q.該当ステージと特別支援教育に関する求められる姿にギャップがある際はどのようにしたらいいですか。

A.前後のステージに求められる姿を確認して、必要だと思う内容から始めてみてください。ステップ(子どもに対する指導・支援の観点)から、課題・関心のあるところを確認するのもおすすめです。

特別支援教育に関する研修体系表(試案) 福島県特別支援教育センター 令和6年3月11日版

	気付くステップ (子ども理解)	支えるステップ (授業・学級づくり)	つなぐステップ (体制づくり)
			管理職の指導・助言の下、保護者や地域、関係機関と連携し、役割を明確にした校内支援体制の構築に主体的に関わっている。
		特別支援教育コーディネーターや保護者及び地域、関係機関と連携し、個々の課題を解決するために、指導・支援の充実を図っている。	
		個別の教育支援計画及び個別の指導計画を効果的に活用して、指導・支援の工夫・改善をしている。	
ステージ1 (概ね1～5年)	児童生徒の実態を把握し、一人一人の教育的ニーズを踏まえた授業づくりを行う等、きめ細かな指導・支援をしている。		
ステージ0 (採用時)	特別支援教育施策等の動向や、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導・支援の在り方について概ね理解している。		
研修項目 (例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共生社会の実現に向けて</li> <li>○特別支援教育の動向</li> <li>○福島県の特別支援教育</li> <li>○合理的配慮とは</li> <li>○教育的ニーズとは</li> <li>○個別の教育支援計画とは</li> <li>○個別の指導計画とは</li> <li>○障がいについて</li> <li>○教育相談と生徒指導</li> <li>○特別支援教育とは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを理解するために大切なこと</li> <li>○子どもの実態把握をする際に大切なこと</li> <li>○教育的ニーズの整理</li> <li>○個別の教育支援計画の作成</li> <li>○個別の指導計画の作成</li> <li>○教育相談の役割と在り方</li> <li>○校内組織活用に向けた理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個に応じた指導・支援の充実</li> <li>○ユニバーサルデザインの視点を生かした授業・</li> <li>○生徒指導の役割と在り方</li> <li>○個別の教育支援計画の活用</li> <li>○個別の指導計画の活用</li> <li>○校内資源・組織の活用・連携</li> <li>○交流及び共同学習の充実</li> </ul>

Q.ステップ、ステージの捉え方、研修項目の見方を教えてください。

A.ステップは子どもに対する指導・支援の観点から整理し、ステージは指標に基づき、それぞれ段階を設定しています。研修項目(例)は、基礎となる項目を上を示しています。

Q.研修項目は何に基づき選定しているのですか？

A.県の指標に基づいて、県や国の資料等から整理し、調査結果に基づき、気付くステップを軸に研修項目を選定しています。